

2026 年度

美 作 大 学 大 学 院

募 集 要 項

《生活科学研究科 生活科学専攻 修士課程》

《人間発達学研究科 人間発達学専攻 修士課程》

〒708-8511 岡山県津山市北園町 50

<http://mimasaka.jp/>

I 大学院の概要

1. 大学院の紹介

本大学院には生活科学研究科生活科学専攻修士課程と人間発達学研究科人間発達学専攻修士課程があります。分野別に見ると、生活科学専攻には、「食健康科学・機能食材開発」分野と「栄養管理実践」分野があります。また人間発達学専攻には「発達支援」分野と「学校・教育課程開発」分野から成り立っています。それぞれ高度な専門的職業人の育成を目指しており、また、社会人の再教育・研修機関としての機能を有しています。社会人の再教育・研修という点では、「栄養管理実践」分野での管理栄養士のスキルアップ、また、人間発達学専攻修士課程修了者には小学校教諭・幼稚園教諭の専修免許を授与することができますので、現職教諭の社会人入学を積極的に進めていきたいと考えています。

2. 生活科学研究科 生活科学専攻 修士課程

生活科学研究科長 曾根 良昭 教授

・生活科学研究科生活科学専攻の案内

生活科学研究科は、本学大学院の最初の研究科として平成 17 年 4 月に開設されました。小規模ではありますが、社会の要請に応える人材養成のための教育研究を着実に進めているところです。

本研究科は、地域に根ざした教育と研究活動を目指しています。アドミッション・ポリシーにも掲げていますが、食の研究を通して、地域の人々が健康で安全に、安心した食生活を送れるよう、研究成果を地域社会に還元するとともに、高度に専門性のある人材の育成に取り組んでいます。また、地域社会の種々の課題の研究に取り組むため、平成 15 年 4 月にスタートさせた地域生活科学研究所との連携の下に、大学院の教育研究を進めています。

修了した院生のほとんどが、各地域社会でその専門性を生かして働いていますが、私たちのメッセージを院生の皆さんがしっかりと受け止めてくれており、また、地域社会にも私たちの思いを受け入れていただいていると自負しております。

生活科学研究科は小規模ですが、それぞれの分野で活躍されている優秀な先生方がおられます。院生は、アットホームな雰囲気の中で、専門の研究を深めることができる絶好の環境にあります。しっかりとした目標を持ち、自ら学びとる志をもって本大学院で学び、社会で活躍されることを願っています。

・教育研究の概要と特色

生活科学専攻修士課程の教育研究分野は、「食健康科学・機能食材開発」分野・「栄養管理実践」分野の 2 分野に分かれています。

「食健康科学・機能食材開発」分野

食環境科学、食健康科学、食品衛生科学、公衆衛生科学、公衆栄養学からなる「食生活の安全・安心」に関わる領域と、機能食材科学、応用微生物科学、食品栄養科学、栄養制御科学からなる「健康の維持・増進」に関わる領域の 2 領域によって編成されています。すなわち、「食」の「安全・安心」の確保をベースにし、その上に立って「健康の維持・増進」を追求する、という体系性を持たせています。

これに加えて、本分野の授業科目として、「特別研究」がありますが、これは修士論文の作成へ向けた指導教員とのゼミに該当するものです。また、オムニバス授業として「食科学論ゼミナール」を開講します。これは、研究を進める上で現代生活の諸課題を広く認識しておくことが大事だ、という観点から開講されるものです。

「栄養管理実践」分野

大学院内での管理栄養士に係る高度な専門科目の履修に加え、医療・福祉の現場、あるいは子どもや地域住民の健康増進を推進する小・中学校、および行政の場などにおいて長期間にわたり特別臨地実習を行うことにより、管理栄養士としてのスキルアップを図り、地域社会の医療、保健、福祉のサービス向上に寄与し、地域社会の生活の向上に貢献できる高度な専門的職業人の育成を目的としています。

1 年次では、「実践栄養管理特論」（2 単位）および「栄養教育特論Ⅰ」、「栄養教育特論Ⅱ」、「臨床栄養学特論Ⅰ」「臨床栄養学特論Ⅱ」などを履修し、管理栄養士として必要となる高度な実践的知識を修得した上で、2 年次以降に 480 時間（12 単位）の特別臨地実習を実施します。実践の場で栄養ケアマネジメントを行うために必要な専門的知識と技術の統合を図り、問題意識と課題解決能力を修得します。そして、特別臨地実習を通して発見した課題の解決に取り組む研究を行います。このように本分野は、栄養管理現場において自らが研究課題を見出し、解決のための研究・取り組みを行い、実践的な技量を養うことに力点を置くところに特色があります。

また本分野では、栄養教諭一種免許取得者または取得資格を持つ人は、指定した科目から 24 単位以上を修得すれば、栄養教諭の専修免許が取得できます。

なお、本学大学院は放送大学大学院と単位互換協定を結んでいますので、放送大学大学院の関連科目の単位取得（合計 10 単位まで）を積極的に推奨していくことにしています。

・修士課程修了後の進路

「食健康科学・機能食材開発」分野の修了者については、保健所等「食」の安全・衛生に関する行政機関、食品関連企業の開発部門・検査部門等への就職が考えられます。

「栄養管理実践」分野の修了者は、既に管理栄養士免許を取得した上で各自が望む栄養管理現場にて臨地実習を実施しているため、終了後も臨地実習で養った実践力を活かし、病院などの医療施設や福祉施設、市町村保健センターや保健所などの管理栄養士、または小・中学校における栄養教諭としての就職が考えられます。

・修士課程修了時の取得資格について

中・高等学校教諭（家庭）専修免許の取得について

中学校・高等学校教諭（家庭）専修免許：「食健康科学・機能食材開発」分野では、中・高等学校教諭（家庭）一種免許取得の人、または取得資格を有する人は、指定した科目から 24 単位以上を修得すれば、家庭科の専修免許が取得できます。

栄養教諭専修免許の取得について

栄養教諭専修免許：「食健康科学・機能食材開発」分野では、栄養教諭一種免許取得の人、または取得資格を有する人は、指定した科目から 24 単位以上を修得すれば、栄養教諭の専修免許が取得できます。

・生活科学専攻の授業科目

分野	授業科目
食健康科学・機能食材開発分野	食環境科学特論 食健康科学特論 食品衛生科学特論 機能食材科学特論 応用微生物科学特論 食品栄養科学特論 栄養制御科学特論 特別研究
栄養管理実践分野	栄養教育特論Ⅰ 栄養教育特論Ⅱ 臨床栄養学特論Ⅰ 臨床栄養学特論Ⅱ 応用栄養学特論 特別臨地実習Ⅰ 特別臨地実習Ⅱ 特別臨地実習Ⅲ 課題研究演習
両分野共通	食科学論ゼミナール 公衆衛生科学特論 公衆栄養学特論 代謝栄養学特論 実践栄養管理特論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 単位互換認定科目Ⅰ 単位互換認定科目Ⅱ

・研究科委員会構成教員の紹介

研究科委員会校正委員の研究テーマ及び最近の業績については、本学大学院 HP をご確認ください。

<https://mimasaka.jp/undergraduate/graduate/life-science/>

3. 人間発達学研究科 人間発達学専攻 修士課程

人間発達学研究科長 妻藤 真彦 教授

・生活科学研究科生活科学専攻の案内

人間発達学研究科、子どもの健全な成長に関心がある人のために、教育学や心理学の研究と学習を行うことを目的としています。これまでの修士号学位取得者には、地域の小学校教諭もおられます。このように本学は社会の要請にこたえようとしてきました。

本学の生活科学部児童学科は、昭和 56 年の学科設置以来幼稚園教諭と小学校教諭の養成、そして平成 15 年からは保育士の養成にも取り組み、教育力の向上と子育て・発達支援の分野で優れた人材を育成し、地域社会に貢献してきています。

しかし、現在、地域社会や家庭の急激な変化、価値観の多様化の中で、とりわけ保育・教育の分野では深刻な問題が生じており、これらの課題に適切に対処できる、優れた見識・知見と実践力を備えた指導的な役割を担える人材の育成が急務となっています。

本大学院では、このような課題意識の下に、「人間発達学研究科人間発達学専攻」(修士課程)において、保育・子育て支援そして教育の分野の教育研究を通じて、地域社会に貢献できる高度な専門的職業人の育成を目指しています。

本大学院は、専門分野の高度な教育研究を通して、社会の発展に寄与することのできる高度な専門的職業人の育成を目的としています。従って、自らの能力を一層高め、それをもって地域社会に貢献しようとする熱意あふれる学部卒業生は勿論ですが、小学校や幼稚園更には保育所等の福祉施設に勤務の社会人の方々の入学を特に期待しています。

・教育研究の概要と特色

人間発達学専攻では、第一に幼児・児童の健全な発達を求める社会の要請が急速に高まっていることを踏まえ、「幼児・児童の心理・発達のメカニズム」の解明・把握と、「発達の支援方法」のあり方に関わる教育研究分野として「発達支援」分野を設定し、第二には、学校社会における望ましい人間関係、学力保証の社会的要請を踏まえ、「生徒指導・生徒支援」及び「教育方法、教育課程開発」に関わる教育研究分野として「学校・教育課程開発」分野を設定しています。

「発達支援」分野

幼児・児童の発達とその支援に関わる諸課題を実証的・科学的に追求するための心理学研究法(リサーチ能力の育成)を基礎として、幼児・児童の発達過程について広い視野に立って専門的な知見を得るための発達心理学特論、発達行動学特論、神経心理学特論、認知心理学特論を開講、その上に立って家庭・地域社会・学校そして施設などで実際に起こる幼児・児童の発達上の諸課題の解決に実践的に取り組むための発達支援特論、身体運動発達演習を開講するという体系性を持たせています。

「学校・教育課程開発」分野

社会・家庭の大きな変化の中で求められる新たな教育の理念や目的を論じる教育思想特論、学習の成立過程や評価方法、生徒間及び生徒と教師の間の人間関係、そこに生じる諸問題について広い視野に立った清深な知見を得るための学習心理学特論、学校社会心理学特論、教育臨床研究を開講、これら理論的知見の基礎の上に、生徒指導・生徒支援の実践力を養う特別支援教育特論と生徒指導・生活指導特論、更には教育内容及び指導技術に関する専門的知見の習得のための児童文学特論、造形表現特論、音楽教育学特論、これらに加えて、教授法・教育課程開発能力の育成を目的とした教育方法学特論、教育工学特論、教育課程開発特論を開講し、更に教科教育学特論Ⅰ・Ⅱによって、各教科の教授法の研究を深めることを目指しています。

また、保育・教育の分野では優れた見識・知見に加え、実践力が求められることから、教育機関等と連携し、インターンシップを積極的に推奨していくことにしています。

・修士課程修了後の進路

「発達支援」分野の修了者については、保育所等福祉施設の保育指導員、児童相談所の相談指導員、家庭児童相談指導員、児童自立相談指導員などの進路が考えられます。また、他大学大学院博士後期課程へ進学することも、修士課程修了後の進路の一つになります。

「学校・教育課程開発」分野の修了者については、小学校や幼稚園への専修免許を有する教員としての就職が考えられます。また、他大学大学院博士後期課程へ進学することも、修士課程修了後の進路の一つになります。

・修士課程修了時の取得資格について

幼稚園教諭専修免許の取得について

「発達支援」分野、「学校・教育課程開発」分野共に、幼稚園教諭一種免許取得の人、または取得資格を有する人は、幼稚園教諭専修免許の教職関係の科目として指定した科目から 24 単位以上を修得すれば、幼稚園教諭専修免許が取得できます。

小学校教諭専修免許の取得について

「発達支援」分野、「学校・教育課程開発」分野共に、小学校教諭一種免許取得の人、または取得資格を有する人は、小学校教諭専修免許の教職関係の科目として指定した科目から 24 単位以上を修得すれば、小学校教諭専修免許が取得できます。

※幼稚園及び小学校教諭専修免許の同時取得も可能です。

・生活科学専攻の授業科目

分野	授業科目
発達支援分野	心理学研究法 発達心理学特論 発達行動学特論 神経心理学特論 認知心理学特論 発達支援特論 身体運動発達演習 児童福祉特論
学校・教育課程開発分野	教育思想特論 教育社会学特論 学習心理学特論 教育臨床研究 学校社会心理学特論 特別支援教育特論 生徒指導・生活指導特論 教育課程開発特論 教育史特論 教育方法学特論 教科教育学特論Ⅰ 教科教育学特論Ⅱ 教育工学特論 児童文学特論 音楽教育学特論 造形表現特論
両分野共通	インターンシップⅠ インターンシップⅡ 特別研究

・研究科委員会構成教員の紹介

研究科委員会校正委員の研究テーマ及び最近の業績については、本学大学院 HP をご確認ください。

<https://mimasaka.jp/undergraduate/graduate/human-development/>

美作大学アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

美作大学大学院生活科学研究科生活科学専攻及び人間発達学研究科人間発達学専攻では、それぞれの研究科・専攻で掲げる教育目標及び人材養成の目的達成のため、学内外を問わず広く次のような人たちを受け入れます。

【生活科学研究科生活科学専攻（修士課程）】

- ①食の分野の教育研究を通じ、人々の健康の維持・増進に貢献したいという熱意のある人
- ②食品学・栄養学そして栄養生理学等についての専門基礎的知見を有し、食に関する健康科学や機能食材開発に関する清深な知見と研究能力を身に付けたい人
- ③管理栄養士の資格を有し、長期にわたる臨地実習を通じ栄養教育や栄養管理に関する課題発見と解決能力、高度な実践的力量を身に付けたい人

【人間発達学研究科人間発達学専攻（修士課程）】

- ①子どもの健全な成長に強い関心があり、教育学や心理学の分野についての教育研究を希望する人
- ②心理学についての幅広い専門基礎的知見を有し、子どもの心理・発達のメカニズムの研究をベースに、発達支援の実践的力量を身に付けたい人
- ③教育学や学校教育についての幅広い専門基礎的知見を有し、生徒指導・支援の実践的教育研究と教授法や教育課程開発の理論的教育研究を通じ、教育の現場において指導的な力量を身に付けたい人

[大学院は「教えてもらう」ところではなく、「自ら学ぶ」ところです。大学院では、「自ら学ぶ」ための題材やヒントが提供されます。「自ら学ぶ」ことを強く意識した方々の本学大学院への入学を歓迎します。]

1. 募集人員

研究科・専攻	専門分野	募集人員
生活科学研究科 生活科学専攻	食健康科学・機能食材開発分野	3 名
	栄養管理実践分野	
人間発達学研究科 人間発達学専攻	発達支援分野	5 名
	学校・教育課程開発分野	

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する人

- ①大学を卒業した人、または 2026 年 3 月卒業見込みの人
- ②(独) 大学評価・学位授与機構より学士の学位を授与された人、または 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの人
- ③外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した人、または 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの人
- ④文部科学大臣の指定した人
- ⑤本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、2025 年 4 月 1 日現在において満 22 歳以上の人

※個別の入学資格審査は、希望する専門分野の自ら関心のあるテーマについて、2500 字程度の論文(様式自由)を本学に提出することとし、その論文を審査することにより、受験資格の有無を判定します。

なお、管理栄養士の資格の取得者に対しては、個別審査を免除することがあります。

⑤に該当する人は、受験希望の試験期(日)の 1 ヶ月前までには、本学入試広報課まで相談下さい。

3. 入試日程・選考の種類及び期別の募集人員

(1) 入試日程

選考期	試 験 日	出 願 期 間	合 格 発 表 日	一次手続締切日
8 月期	2025 年 8 月 23 日(土)	8 月 11 日(月) ~8 月 20 日(水)	8 月 27 日(水)	9 月 3 日(水)
1 月期	2026 年 1 月 25 日(日)	1 月 12 日(月) ~1 月 21 日(水)	1 月 28 日(水)	2 月 4 日(水)
2 月期	2026 年 2 月 15 日(日)	2 月 2 日(月) ~2 月 12 日(木)	2 月 18 日(水)	2 月 25 日(水)

(2) 選考期別募集人員

実 施 研 究 科	選考期別募集人員		
	8 月期	1 月期	2 月期
生活科学研究科 生活科学専攻	1 名	1 名	1 名
人間発達学研究科 人間発達学専攻	2 名	2 名	1 名

4. 出願書類

ア) 志願票・受験票・入学検定料振込証明書

イ) 卒業(見込)証明書、なお上記 2) あるいは 4) に該当する人は、それを証明する書類、出願資格⑤に該当する人は、最終学歴を証明する書類(いずれも厳封)

ウ) 成績(単位修得)証明書、なお、5) に該当する人は、最終学歴の成績証明書(いずれも厳封)

エ) 志望理由・研究計画書

推薦選考受験者は 1000 字以上 2000 字以内(一般選考受験者は提出不要)

5. 入学検定料:30,000 円

本学所定の入学検定料振込用紙に必要事項を記入して、金融機関で納付後「入学検定料振込証明書(C)」を志願票の所定欄に貼付して下さい。

6. 希望する指導教員との面談

受験者は出願前に希望する指導教員と面談し、双方が了解した上で予定指導教員を決定します。出願の際には、志願票及び志望理由・研究計画書の所定の欄に予定指導教員名を記載して下さい。

※「研究科委員会構成教員の紹介」を参考に、希望する指導教員との面談を行って下さい。

なお、面談の日時等については、本学の入試広報課(TEL. 0868-22-5570、Eメール kouhou@mimasaka.ac.jp)に連絡し、日程調整を行って下さい。

7. 出願書類の取り寄せと提出について

本学の入試広報課(TEL. 0868-22-5570、FAX. 0868-23-6936、Eメール kouhou@mimasaka.ac.jp)より取り寄せて下さい。

8. 個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記載された個人情報は、入学試験の実施、合否結果の通知等、入学 手続、奨学金等の制度の運用、入学者の受入準備、入試の改善や志願動向等の調査に使用し、それ以外の目的では使用しません。

美作大学大学院は、個人情報は細心の注意を払って取り扱われるべきデータと考え、個人情報保護に関する規程を設け、その収集・保存・利用については厳重な管理の下に運用しています。

【備考:志望理由・研究計画書の様式】

- ・A4 サイズの用紙
- ・横書き
- ・1 行の字数は 40 字
- ・1 ページの行数は 30 行

受験者名
最終出身(在学)学校名 修士
課程
希望する専門分野名
予定指導教員名

9. 選考の別

(1) 推薦選考

8 月期・1 月期・2 月期のいずれにおいても実施します。

・出願資格

前記「大学を卒業した人、または 2026 年 3 月卒業見込みの人」に該当し、成績優秀で、4 年次指導教員または学科長等による推薦を受けた人

・出願書類

前記「出願書類」に加え、4 年次指導教員または学科長等による推薦書(本学所定の用紙)、及び入学検定料を願書出願期間内に郵送または持参下さい。

また、「志望理由・研究計画書」の字数は、1000 字以上 2000 字以内です。

・選考方法・試験場及び試験当日の時間

①選考方法

口述試験(提出書類の記載内容を中心とした質問)、提出書類により総合判定します。

②試験場:美作大学

③試験当日の時間

受付	集合	口 述 試 験
12:30~	12:50	13:00~

・合格発表

合否通知は発表日に本人宛に速達で発送します。

・入学手続

各選考期毎に定めてある日時までに入学金を納入し、一次手続を完了して下さい。詳細は合格通知に同封の案内を参照下さい。

また、最終(二次)の入学手続(前期分授業料等の納付)期限は、選考期の別に関係なくすべて 2026 年 3 月 18 日までとなっています。

(2) 一般選考

8 月期・1 月期・2 月期のいずれにおいても実施します。

・出願書類

前記「出願書類」と入学検定料を、願書出願期間内に郵送または持参下さい。

また、一般選考では「志望理由・研究計画書」は不要です。

・選考方法・試験場及び試験当日の時間

①選考方法

英語、専門分野の筆記試験及び口述試験により総合判定します。

- ・英語は英和辞典の持ち込みができます。ただし電子辞典は持ち込みを禁止します。英文和訳、英文要約を主とした問題です。
- ・筆記試験は、志望分野の基礎的な用語等についての説明問題と、専門に関する論述問題等を主とした出題です。
- ・口述試験は、志望の動機や入学後予定している研究のテーマ・計画等を中心とした質問です。

②試験場：美作大学

③試験当日の時間

受付	集合	英語	専門筆記試験	口述試験
9:00～	9:20	9:30～10:30	10:40～12:00	13:00～

・合格発表

可否通知は発表日に本人宛に速達で発送します。

・入学手続

各選考期毎に定めてある日時までに入学金を納入し、一次手続を完了して下さい。詳細は合格通知に同封の案内を参照下さい。

また、最終(二次)の入学手続(前期分授業料等の納付)期限は、選考期の別に関係なくすべて2026年3月18日までとなっています。

(3) 社会人選考

8 月期・1 月期・2 月期のいずれにおいても実施します。

・出願資格

次の各号のいずれかに該当する人で、それぞれの資格を充足してのち入学時において 3 年以上経過し、2025 年 4 月 1 日現在において満 25 歳以上の人（就業の有無は問わない）

- ①大学を卒業した人
- ②学位授与機構より学士の学位を授与された人
- ③外国において学校教育における 16 年の課程を修了した人
- ④文部科学大臣の指定した人
- ⑤本大学院において、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人

・出願書類

前記「出願書類」に加え、履歴書（市販されている様式で可）、及び入学検定料を願書出願期間内に郵送または持参下さい。

なお、「志望理由・研究計画書」の字数は 2000 字程度です。

・選考方法・試験場及び試験当日の時間

①選考方法

口述試験（提出書類の記載内容を中心とした質問）、提出書類により総合判定します。

②試験場：美作大学

③試験当日の時間

受付	集合	口 述 試 験
12:30～	12:50	13:00～

・合格発表

可否通知は発表日に本人宛に速達で発送します。

・入学手続

各選考期毎に定めてある日時までに入学金を納入し、一次手続を完了して下さい。詳細は合格通知に同封の案内を参照下さい。

また、最終（二次）の入学手続（前期分授業料等の納付）期限は、選考期の別に関係なくすべて 2026 年 3 月 18 日までとなっています。

(4) 外国人留学生選考

8 月期・1 月期・2 月期のいずれにおいても実施します。

・出願資格

本大学院における授業を受けるに足る日本語の能力を有し、次の各号のいずれかに該当する人

- ①日本において外国人留学生として大学を卒業した人、または 2026 年 3 月に卒業見込みの人
- ②外国の国籍を有し、外国において学校教育における 16 年の課程を修了した人
- ③日本の国籍を有せず、出入国管理および難民認定法において在留資格「留学」を有する 人(2026 年 3 月に資格取得を見込める者を含む)で、②と同等以上の学力があると認められた人で、2025 年 4 月 1 日現在において満 22 歳以上の人

・出願書類

ア) 志願票・受験票・入学検定料振込証明書

イ) 履歴書(市販されている様式で可)

ウ) 最終卒業学校の卒業証明書、または卒業見込み証明書

エ) 最終卒業学校の成績(単位修得)証明書

オ) 志望理由・研究計画書(志望理由・入学後の研究のテーマ・目的・方法・意義などについて日本語で 1000 字以上 2000 字以内にまとめたもの。なお、卒業論文がある場合は、できるだけ卒業論文のテーマ・内容を踏まえて、入学後の研究テーマについては書いて下さい。)

カ) 日本国際教育協会及び国際交流基金日本語能力認定書があれば、その写し

キ) 日本に在住する確実な身元保証人の身元保証書

・選考方法・試験場及び試験当日の時間

①選考方法

小論文(志望専門分野に関連したテーマの小論文、字数:600 字程度)、口述試験(提出書類の記載内容を中心とした質問)及び提出書類により総合判定します。

②試験場:美作大学

③試験当日の時間

受付	集合	小論文	口述試験
12:30~	12:50	13:00~14:00	14:20~

・合格発表

可否通知は発表日に本人宛に速達で発送します。

・入学手続

各選考期毎に定めてある日時までに入学金を納入し、一次手続を完了して下さい。詳細は合格通知に同封の案内を参照下さい。

また、最終(二次)の入学手続(前期分授業料等の納付)期限は、選考期の別に関係なくすべて 2026 年 3 月 18 日までとなっています。

・外国人留学生に対する学費等の特別措置について

外国人留学生に対しては、入学金については入学後、入学金に相当する額を奨学金として給付します。また、学費(授業料、施設設備費)についても半額を免除します。

10. 入学金、学費及び入学時の学費等

	入学手続時 納 付 金	第 1 年次 前・後期納付金
入学金	250,000 円	
授業料		350,000 円
施設設備費		50,000 円

◎既納の入学金については、理由の如何にかかわらず返還しません。

11. 入学時における授業料等学費の納付について

・学費（授業料及び施設設備費）

学費は、1 年を前期と後期に分けて納入します。入学時においては、下記の日程で前期分を前納（二次手続）するものとします。なお、手続の案内は 2026 年 3 月初旬に発送します。

・既納の学費の返還について

既納の入学金については、理由の如何にかかわらず返還しません。

二次手続で納入の学費については、2026 年 3 月 31 日（必着）までに「入学辞退届」を送ってきた人には、本学の入学式後速やかに返還することとします。

「入学辞退届」の様式は自由ですが、受験生本人の署名捺印、本学を受験した時の受験番号及び振込先口座番号・名義は必ず書いて下さい。また、本人であることの確認の必要上、前期分学費を振り込んだ際の領収書を同封下さい。

12. 障害等のある入学志願者の事前相談について

障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、怪我等）があって、受験上及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、出願に先立ち、下記事項を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書（写しても可）を添え、本学入試広報課に相談をしてください。その結果、必要な場合は、本学において入学志願者又は出身校関係者等の面接を行います。

・相談の期限

各出願期間初日の2週間前まで（土日祝日等の大学休業日を除く。）

ただし、期限後であっても受験及び修学の際に特別な配慮が必要とされる場合は、必ず下記に連絡をして下さい。

・連絡先

美作大学 入試広報課

〒708-8511 岡山県津山市北園町 50

電話 (0868) 22-5570 Mail:kouhou@mimasaka.ac.jp

13. 美作学園特別奨学生(特待生)について

最終学歴の大学等での成績が優秀で、出願時に、所属学科長・研究科長等の「特別奨学生 推薦書」(様式は自由)を添えて、特別奨学生採用の希望を申し出た人については、審査の上、成績によってはそれぞれ若干名を特別奨学生として採用します(なお、志願票の右肩に 特待生希望と朱書して下さい)。

採用の可否については、合格発表日に、本人宛に郵送にて通知します。特待生には入学後、入学金の全額と、授業料の半額に相当する奨学金が給付されます。

14. 奨学金について

大学院学生のための代表的な奨学金制度は日本学生支援機構の奨学金制度で、その他に地方自治体、民間育英団体の奨学金制度があります。

日本学生支援機構の大学院生を対象とした奨学金の2025年度の額は次の通りです。

・第一種奨学金

貸与月額:5万円、8万8千円

・第二種奨学金

貸与月額:5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から自由に選択できます。